

本紙は、皆様の自治会費の一部により発行させていただき、学区内全戸に配布させていただいております。

第186号

令和2年9月

日吉台の福祉



【日吉台の福祉】で

検索



発行 日吉台学区社会福祉協議会

ホームページ：<http://orchidturtle6.sakura.ne.jp>

今期前半の「社会福祉協議会活動」について

日吉台学区社会福祉協議会

会長 呉屋 之保

日吉台学区の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は当協議会の運営に対して、格別のご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて世界中を震撼させている新型コロナウイルス感染症の広がりにはますます規模を拡大し、医療体制の疲弊が案じられるとともに、経済活動にも大きな影響を与えています。

私達日吉台学区社会福祉協議会（以下“社協”）の活動もかつてない大きな影響を受け、今年の3月以降は全ての活動の自粛止む無きとなり今日に至っています。

「各種サロン活動」

コロナ感染症は「人から人への飛沫感染」と言われ、密閉、密集、密接の所謂「三密」は絶対避けねばなりません。

ところが社協活動の原点は「人と人とのつながり」ですから活動が大きく制約される事になり、総会でお約束した諸活動（すこやかサロン、ふれあいサロン、いきいき体操、おでかけサロン、ふれあい給食、こども食堂など）は苦渋の選択ですが、中止とさせていただきました。

これまで各サロンに参加していただきました皆様には、期待を裏切る結果となり大変申し訳なく思っています。

「敬老のつどい」（福祉まつり）

中でも毎年9月に開催していましたが「福祉まつり」は、当初昨今の状況から形を変えて「敬老の集い」として再発足を計画していましたが、コロナ禍対策である「三密」を避ける事、大勢での食事会の回避、会場である大会議室の定員削減、などの理由で開催不能になってしまいました。

それでも学区民のお祝いの気持ちを少しでも表したいと考え、米寿の対象者25名(昭和7年4月1日～同8年3月31日生)の方々に、お祝いの気持ちと記念品をお宅へお届けさせていただく事にしています。

「ささえあいの会」活動

社協活動の大きな柱である「ささえあいの会」活動は、困難な時期にもかかわらずサポーターの皆さんの献身的な努力によって休みなく続けられてきました。

4月度29件、5月度29件、6月度31件、7月度28件、8月度21件。8月までの今年度累計では 138件に達しています。

内容は庭の草取り・庭木の刈込、ゴミ出し、電気機器のメンテ、各種修理など多岐にわたっており、ご依頼の方々だけでなく、住民の皆さんから、この地道な活動に対して感謝のお言葉を頂いております。

社協ではこの活動を高齢社会においては重要な活動の一つと位置づけ、今後とも充実させていきたいと考えております。

それには「ささえあいの会」を支えて下さるサポーターの方を一人でも多く登録していただきたいと考え、お願いする次第です。

「支援物資のお礼」

大津市社会福祉協議会の呼びかけで、コロナ禍などで生活に支障をきたしている方を支援するために、支援物資の提供をお願いしたところ、予想以上に多くの物資を支所にお届けいただきました。

本当にありがとうございました。社協ではすでに7回にわたり大津市社協へ届けました。この活動は今後とも今しばらく続けられますので、引き続きご協力をお願いいたします。

「今後の活動」について

9月以降の今期後半の活動予定ですが、正直なところ感染状況が日々流動的で我々の活動見込みも立てられません。

また感染予防対策として公民館から細かい注意事項が通達されましたが、特に社協にとって厳しいのは、館内の会議室や和室の利用人数の目安が示された事です。

「三密」を避けるため、これまでのおおよそ5割～6割程度に制限されています。

従ってこれまでのサロンの規模での開催は無理となり、サロンの内容も含めた慎重な検討が必要となりますが、どんな形になろうとも出来るだけ再開できるよう鋭意検討していきたいと考えています。

「いきいき体操」の再開

その第一弾としてご要望が多かった「いきいき体操」を試験的に9月16日（水）から出来る限りの感染予防対策を講じて再開する事にしました。

時節柄どうしても家に閉じこもる事が多く、運動不足になりがちなので少しでも解消するのを願って再開するものです。

なお、感染予防のため、参加者の皆さんにマスクの着用、入館・退館時の手の消毒などお願い事項を遵守の上是非ご参加下さいますようご案内いたします。

「福祉事業賛助金」のお願い

別途の文書でお願いしております「福祉事業賛助金」の件ではありますが、今年はコロナ禍のため社協活動を休止していた関係で、お願いがいつもより大幅に遅れてしまいました。

お願いの趣旨、使い途等は別途の文書で書かせて頂いておりますが、我々日吉台学区社協は年間約200万円の予算規模で活動しています。

財源は自治連合会、大津市、大津市社協からの補助と、住民の皆様にご協力頂いた年間約30万円の「福祉事業賛助金」で賄っています。

従って皆様の貴重なご芳志が無ければ活動が成り立たないのが実情です。

どうか日吉台の福祉活動をより充実させるために、住民の皆様のご理解とご協力を切にお願いする次第です。

以上